



つながるほいくえん 釜井台

社会福祉法人センス オブ ワンダー

Recruit Guidebook 2024

つながるほいくえん 御幸が原



子どもと一緒にドキドキ・ワクワクしながら 『未来を生き抜く力』を育てませんか？



子どもの笑顔を見ているとなんだか心が温くなる。

やっぱり子どもが大好き。

泣いていた子どもの私に優しくしてくれた、あの先生みたいになりたい。

赤ちゃんを抱いている親子とすれ違う。思わず笑顔になった。

小さかった頃の記憶や お母さんのぬくもりを 思い出したから。

子どもが好き、先生になりたい、子育て中の親子を支えたい。

そんな子どもの頃からの夢、一緒に叶えませんか？

子どもたちとの楽しい日々を送りませんか？

子どもの笑顔と家族の幸せを支えたい。

そして、働くあなたの笑顔を支えたい。

あなたが、私たちの仲間になってくれるのを待っています。

法人の理念

- 私達は、当園に関わる全ての人たちの“幸せ”を心から願い、援助をします。
- 私達は、“子どもが子どもらしく”安心して生活できる場と時間を保障します。
- 私達は、“子どもを真ん中に置いた地域・社会”の実現を目指します。



私たちは、子どもの想いに興味や関心に寄り添い、子どもと一緒に様々な体験や発見をし、一緒に感動を分かち合いながら、どうしたらより深く広い学びの芽を育てることにつながるのか、どうしたらこの子の心が育っていくのか、保育所保育指針を踏まえて、常に試行錯誤し、改善しながら、子どもと一緒に学び続け、幸せをつないでいく、そんな保育者集団を目指しています。

はじめまして。私たちは、**社会福祉法人 センス オブ ワンダー** です。どうぞよろしくお願いいたします。

私たちは **つながるほいくえん 釜井台** と **つながるほいくえん 御幸が原**を運営しています。

私たちは、子ども達の将来、大人になった時に、必要とされる力を育てています。それは“**未来を生き抜く力**”です。「できる・できない」といった分かりやすい結果ではなく、「目には見えないけれど、子どもたちの将来を支える大切なもの」を育てたいのです。それは日々の遊びや生活の中で育まれていきます。

遊びの中で子ども達は様々なことに出会い、感じ、考え、試行錯誤し、表現しようとしています。友達との関わりの中で、お互いの思いを知り、ぶつかりあい、認め合い、折り合いをつけることを学んでいきます。

私たち保育者は、子どもの思いを読み取り、共感し、どうしたらこの子の思いを大切にできるか、育ちにつなげるためにどんな援助や環境を用意したら良いのか、子どもの背中から、横から、まなざしの先にあるもの、その思いを知ろうと努めています。

「子どもが子どもらしく遊び、生き活きと生活する」。それが私たちが保障したいことです。

失敗しても良いから、子どものためにあなたがやりたいことに挑戦してください。「どうしたい？ やって見たら？ 応援するから」。それが私たちのスタートです。**「子どもが楽しい、あなたも楽しい、保護者も楽しい、みんなハッピー！」**。そう簡単にはいかないかもしれないけど、そんな HAPPY！ のつながりの中で、一緒に働きませんか？ 優しさに溢れ、明るく笑顔で、子どものことを大好きな私たちの仲間になりませんか？ 私たちがあなたのベストマッチの園でありますように。あなたの保育者としての成長を心から応援します。

社会福祉法人センス オブ ワンダー

理事長 山崎 英明

つながるほいくえん 釜井台



隣に大きな森がある自然とつながる保育園。子どもが子どもらしく遊び、子どもの主体性を育てます。1人1人の子どもの思いに寄り添いながら、子どもだけでなく保育者もドキドキ！ワクワク！するような保育です。

平成26年『第7回キッズデザイン賞（子どもの未来デザイン 感性・創造性部門）』受賞。

つながるほいくえん 御幸ヶ原



住宅街の中にある地域とつながる保育園。1人1人が安心してゆったり過ごし、伸び伸びと遊ぶ中で自己発揮をしながら、心身ともに健やかに育つことを大切にしています。

前庭だけでなく屋上園庭もあり、大型木製遊具で上と下の庭が繋がっているユニークな園舎です。

平成27年『第8回キッズデザイン賞（子どもの未来デザイン 感性・創造性部門）』受賞。

■ 法人の名は「**センス・オブ・ワンダー**」



当法人の名称は、アメリカの海洋生物学者レイチェル・カーソンさんの著書「センス オブ ワンダー」からいただきました。

意味は、“神秘さや不思議さに目を見張る感性”。

この本の一節がとても印象に残り、当法人の運営・当園の保育観に影響を与えるものとなりました。当園の保育・環境・建物・園庭など、全てを考える時、この本と保育所保育指針に書かれていることを基準（ものさし）にして考えています。以下の文章はその抜粋です。

生まれつきそなわっている子どもの「センス オブ ワンダー＝神秘さや不思議さに目を見張る感性」をいつまでも新鮮に保ち続ける為には、私たちが住んでいる世界の喜び、感激、神秘などを子どもと一緒に再発見し、感動を分かち合ってくれる大人が少なくとも 1 人、そばにいます。 （中略）

「知る」ことは「感じる」ことの半分も重要でないと固く信じています。

子どもたちが会おう事実の一つ一つが、やがて知識や知恵を生み出す種子だとしたら、様々な情緒や豊かな感受性は、この種子を育む肥沃な土壌です。

幼い子ども時代は、この土壌を耕す時です。美しいものを美しいと感じる感覚、新しいものや未知なものにふれたときの感激、思いやり、哀れみ、賛嘆や愛情などさまざまな形の感情がひとたび呼び覚まされると、次はその対象となるものについてもっとよく知りたいと思うようになります。

そのようにして見つけた知識は、しっかりと身につきます。

消化する能力がまだ備わっていない子どもに、事実を鵜呑みにさせるよりも、むしろ子どもが知りたがるような道をきりひらいてやることのほうがどんなに大切であるかわかりません。

【レイチェル L. カーソン 著 「センス オブ ワンダー」新潮社】 より

「不思議さや神秘さに目を見張る感性」、簡単に言えば「ドキドキ！」「ワクワク！」

「これなんだろう？」「不思議だな？」「面白い！」「もっとやりたい！」「もっとしりたい！」……。私たちは子どものこんな想いを大切にしたいと考えています。

そして大人になっても持ち続けられれば、きっと豊かな人生を送ってくれると信じています。

■ 園名 “つながる” に込められた意味



人とつながる、自然とつながる、地域とつながる 未来につながる

私たちは、「自分」を取り巻く様々な”つながり”の中で生かされています。

心、家族、友人、地域の人々、食べ物、自然、モノ、過去、現在、未来……。そのつながりに気づき、感謝し、支え、支えられる関係を大切にできる人になってもらいたいと願っています。

私たちは、子どもたちの未来を考えたとき、健康で、いつも笑顔でいてもらいたいと思っています。しかし、時には心が折れそうな困難に出会うこともあるかもしれません。

そんな時、**あきらめずに自分の力でしなやかに立ち上がり、一歩前に踏み出せる人になってもらいたい。**

それも難しい時には、支えてくれる人が一人でも側にいてくれたら、一緒に前を向いて歩いていける。

そんなつながりを築ける人になってもらいたいと思っています。

■ 保育目標

こんな大人になってもらいたいと思いながら保育をしています。

・センス オブ ワンダー(ドキドキ・ワクワク)を持ち続ける人

- ・自分で考え行動し、責任を持てる人
- ・周りの人やモノとのつながりに感謝し、支え、支えられる人
- ・失敗した時や困難な時も最後まであきらめない人

■ 保育内容

- ・子どもが安心した気持ちで生活を送る人的・物的環境を保障します。
- ・子どもが子どもらしく遊ぶ中で興味・関心を広げ、学びの芽生えを育みます。
- ・五感を伴う直接体験や、発達を踏まえた環境（ヒト・モノ・コト）を通し人格形成の基礎を育みます。
- ・失敗・葛藤・工夫・試行錯誤・挑戦・勇気・達成感などを味わう体験を通し、しなやかな心と体、自己肯定感を育みます。
- ・子どもを真ん中に家族・地域・園がつながりを深め、お互い支え合える関係を目指します。

■ つながるほいくえんが目指す保育

- **遊びや園生活の中で、環境（ヒト・モノ・コト）を通して、子どもが主体性を発揮する保育・教育**
- **未来を生き抜く力と学びの芽生えを育てる保育・教育**
- **子どもと一緒にドキドキ・ワクワクする保育・教育**

- ・一人一人の子どもに丁寧に寄り添う。
- ・子どもが慈しみ愛されていると実感できる。
 - ◎愛着関係を育む（将来に渡る人との信頼関係の基礎と安定した情緒を育む）
- ・遊びと生活の中から子どもの「主体的・対話的で深い学び」を育む。
- ・子どもが子どもらしく生き、自らの生活の主人公となる。
- ・乳幼児期だけでなく小学校以降の教育や未来を見据える。（3つの柱、10の姿）
- ・保育者主体の“教える”保育から子ども主体の“共に育ち合う”保育へ。
- ・保育所保育指針に基づき、最新の科学的根拠を元に常にアップデートする。
- ・「ありのままの子ども姿」を認め、人への基本的信頼感、自己肯定感につなげる。
- ・結果ではなくプロセスを大切にし、その中で育まれるものを大切にする。
- ・子どもが真ん中！（大人の都合で保育をしない）
- ・見えないもの（心情・意欲・態度）を大切に育てる。
- ・保護者・地域の人財を巻き込んで、一緒に子どもを育てる。
- ・経験と育ちを振り返り、次の活動につながる。

つながるほいくえん 釜井台



〒329-1104 宇都宮市下岡本町 4550-2

TEL 028-671-8811 FAX 028-671-1411 E-mail thk@sense-of-wonder2010.org

園長 人見 博子

開設日	平成 25 年 4 月 1 日	認可定員	90 名	利用定員	80 名
開所時間	月～金 7:00 ～ 19:00		土 7:00 ～ 18:00		
保育短時間	月～金 8:30 ～ 16:30		土 8:30 ～ 16:30		

■ 園児数及び保育士数 (R6.06.01)

クラス名	園児数	保育士数	備考
いきものはかせ (5歳児)	18名	2名	4歳児年度末に子ども会議でクラス名を決定。 R5「ゆうき100%」R4「がんばれなまかまおうえん」 R3「たいようとダイヤモンド」R2「ちからたいせつ」 R1「ピートとたからさがし」H30「せかい☆だいすき」 H29「アポロたんけんたい」、H28「みんなともだち」
わくわく (4歳児)	18名	2名	
どきどき (3歳児)	18名	3名	
ぐんぐん (2歳児)	18名	4名	
すくすく (1歳児)	16名	5名	緩やかな担当制で保育。年度後半月齢で3～4のグループに分けることがある。
よちよち (0歳児)	4名	4名 看護師 1名	
合計	92名	21名	

■ 職員構成 (32名内兼務3名)

園長	1名	主任保育士	2名
副主任保育士	2名	ミドルリーダー保育士	2名
保育士	16名	看護師	1名
事務	兼務 3名	早番・遅番保育士	1名
栄養士・調理師	常勤 3名 非常勤 1名	土曜・代替保育士	1名
園務	1名		

つながるほいくえん 御幸が原



〒321-0982 宇都宮市御幸ヶ原町 75

TEL 028-663-2166 FAX 028-663-2175 E-mail thm@sense-of-wonder2010.org

園長 小森 孝子

開設日	平成21年4月1日	認可定員	90名	利用定員	90名
開所時間	月～金 7:00 ～ 19:00		土 7:00 ～ 18:00		
保育短時間	月～金 9:00 ～ 17:00		土 9:00 ～ 17:00		

園児数及び保育士数 (R6. 6. 1 現在)

クラス名	園児数	保育士数	備考
きらきらぼうけん (5歳児)	20名	2名	子ども達の会議でクラス名決定
わくわく (4歳児)	20名	2名	
どきどき (3歳児)	20名	3名	
ぐんぐん (2歳児)	18名	4名	短時間保育士加配
すくすく (1歳児)	16名	5名	前半は高月齢・低月齢2クラス
よちよち (0歳児)	7名	5名	看護師含む
合計	101名	21名	

職員構成 (30名)

園長	1名	主任・副主任保育士	3名
保育士	18名	土曜・延長・代替保育士	2名
事務	1名	栄養士・調理師	3名
園務	1名	保育補助	1名

● 各種制度・サポートの紹介

働きやすい職場環境づくりのため、就業規則を常に見直し、各種福利厚生の実施及び保育者のスキルアップ、キャリアアップ、メンタルヘルスなどの為、様々な人材(人財)サポートを実施しています。

● あなたが元気で楽しく働けるように、プライベートと仕事の両立をサポート！

● 働きやすい職場環境を目指し、常に業務内容の改善！

◎結婚、出産、子育て、介護など、ライフステージが変わる時に、あなたの**状況に合わせた働き方を提案**しています。例えば時短勤務への変更や担任から保育補助などへの移動など、あなたがずっと働きやすいように様々なサポートを行っています。

○指導計画や記録など、事務負担を減らす為に、**業務内容の改善**を図っています。

・指導計画・日々の記録など、写真やパソコンを使って、事務業務の改善を行い、先生の働き方改革と、保育・教育の質向上に取り組んでいます。

○**休暇を取得しやすい職場**です。

・年次有給休暇は、半年以上継続勤務し、全労働日の8割出勤していれば、10日取得できます。以降1年毎に日数は増えていきますが20日が上限です。取得しなかった年次有給休暇は、翌年に繰り越しできます。

・年に5日を限度に時間単位で年次有給休暇を取得できます。半日単位の有給休暇取得も可能です。

・通常の年次有給休暇に加えて、学校行事、病気・ケガ、通院、旅行、介護・看護など、**様々な状況に応じて利用できる園独自の「特別有給休暇制度」があります。※下記参照**

・【園独自の特別休暇】：①夏季・冬期特別休暇（年3日、7月・8月・12月・1月）

②半年未満の勤務者への特別休暇（6日上限）

③本人及び・家族の状況に応じた特別休暇

（年次有給休暇付与日数が20日未満の者のみ）

【無給の休暇】：産前産後休暇、育児休暇、介護休暇、生理休暇、子の介護休暇

○**全クラス複数担任制**。初めてでも、慣れてなくても、常に相談・協力しながら保育を進めていくことができます。

○労働保険・社会保険なども充実し、常により良い制度利用の方法を提案・サポートしています。

○姉妹園「つながるほいくえん 釜井台」「つながるほいくえん 御幸が原」「認定こども園釜井台幼稚園」が近くにあるので、お子様が生まれても近くに預けることができます。**出産・育児休暇明けも安心です。**

●メンター制度

○新しく入職した職員のメンタルサポートのため、「**メンター制度**」を導入しています。

・他学年の少し先輩の先生とペアを作り、日頃の保育・仕事の疑問・課題・悩みなどだけでなく、何でも**気軽に相談できるシステム**です。

●キャリアサポート・研修制度

○園長、主任、副主任、ミドルリーダーなどの役割と職責を明確化し、**キャリアアップ**していくことをサポートしています。主任・園長を目指すことも可能です。

【園外研修】

最新の乳幼児教育の知識やスキルを学ぶために、各種団体等の**研修参加機会が多く**あります。研修に参加する都度、**研修手当と交通費・食事代等の必要経費を支給**します。

【園内研修】

保育の質の向上のため、自園の研修だけでなく、姉妹園との合同研修や相互参観を行っています。講義やグループワークなどを通して、**1人1人の課題解決につながる極め細やかな研修**を行っています。**他園の視察**などの機会や、養成校講師や他園の園長などを招いてアドバイスをいただくこともあります。

●その他・各種手当

○変形労働時間制（月単位）。

○役職・経験年数・研修受講回数などに応じて**昇給・手当が加算**されます。

○入職後初めての給料月に、**お給料以外に別途就職お祝い金として1万円をお渡し**します。ご両親、ご家族へのプレゼントやお食事などにお使いください。

○入職後お友だちを紹介していただき、採用となった場合は、**紹介手数料として3万円をお渡し**します。

また、紹介されて入職された方にも、入職後半年経った時点で、3万円をお支払いします。

★今後もより良い職場環境となるよう、様々な提案・サポートをしております。



● 当園（法人）にご興味のある方へ ●

就職相談、応募方法、面接、施設見学、保育体験など随時受け付けております。

上記を希望される方、また今後当園に関する詳細な情報を受け取りたい方は、下記の QR コードを読み込み、Google フォームに必要事項を入力・送信してください。こちらから適時発信いたします。



● 社会福祉法人センス オブ ワンダー ●

つながるほいくえん 釜井台 & つながるほいくえん 御幸が原

ホームページ : <https://sense-of-wonder2010.org>



子どもが子どもらしく、のびのび、いきいき、ドキドキ、ワクワクする生活を
愛されている実感を 人を好きになる喜びを モノや自然と関わる楽しさと不思議さを
未来につながる 今しか出来ない 遊び体験を

社会福祉法人センス オブ ワンダー

つながるほいくえん 釜井台

〒329-1104 宇都宮市下岡本町 4550-2 TEL 028-671-8811

つながるほいくえん 御幸が原

〒321-0982 宇都宮市御幸ヶ原町 75 TEL 028-663-2166

【姉妹園】 学校法人やまざき学園 認定こども園 釜井台幼稚園(法人事務局)

〒329-1104 宇都宮市下岡本町 4548-4 TEL 028-673-0238

